

# 緑の地球

## GREEN EARTH

地球環境のための国境をこえた民衆の協力



9月に蔚県陽眷鎮でアブラマツの植樹がおこなわれた。作業には蔚県志願者協会のボランティアも参加。

### Contents

- ご参加ください GEN 運営懇談会 ..... P 2
- なんでも勉強会オンライン・自然と親しむ会参加者募集 P 2
- 年末寄付のお願い ..... P 3
- 黄土高原紀行 ..... P 6
- 大同緑化協力 25 年の軌跡 ..... P 7

2021.11  
202

認定特定非営利活動法人 緑の地球ネットワーク



## ご参加ください GEN 運営懇談会

今年も GEN 運営懇談会をおこないました。昨年はオンラインのみでの開催でしたが、今年は会場とオンラインを併用しておこないます。

GEN 運営懇談会は 2010 年からスタートし、年に 1 回、GEN を支える会員同士が議論し、自由に意見を交換しながらさまざまなアイデアを出す場としておこなっています。

昨年の運営懇談会ではコロナ禍でできることについて議論しましたが、そこで提案されたオンライン勉強会や YouTube 動画配信などの活動が実現しています。今年の運営懇談会でもぜひ多くの会員みなさんにご参加いただき、

さまざまなご意見をお寄せいただけるとうれしいです。

○日時：12 月 11 日（土）13 時 30 分～16 時 30 分ごろ

○参加方法：Web 会議システム Zoom または会場での参加

○会場：大阪産業創造館 5 階研修室 D（大阪市中央区本町 1-4-5 大阪メトロ中央線・堺筋線「堺筋本町」駅より徒歩 5 分）

○参加費：無料

○参加方法：参加を希望される方は 12 月 9 日（木）までに表題を「運営懇談会参加」として GEN まで（gen@gen-tree.org）メールをお送りくださ

い。メール送付の際、会場での参加か、オンラインでの参加かをお知らせください。オンライン参加の方には後日、運営懇談会のメーリングリストより Zoom のミーティング ID とパスワードをお知らせします。運営懇談会のメーリングリストに加わっていない方は、後日 GEN より招待メールをお送りします。12 月 11 日（金）までにメールが届かない場合は GEN 事務所までご連絡ください。



### 参加者募集 GEN なんでも勉強会オンライン 環境からみる中国のいま

いまの中国の変化は、日本の高度成長期に比べ、その範囲も規模も角度もはるかに大きく、日本においてメディアの報道に頼っているだけではそれがわかりません。

中国のいまを環境という切り口で話してもらおうのが、今回の企画です。中国の環境問題の研究と、日中の環境協力の第一線に長く立ってこられた染野憲治さんは、そのための最適任者だと思います。今回は北京からオンラインで話していただきます。

○日時：11 月 25 日（木）19 時～20 時 30 分ごろ

○手段：Web 会議システム Zoom

○講師：染野憲治さん（早稲田大学現代中国研究所招聘研究員）

○参加費：無料

○定員：50 名

○申込：以下のいずれかの方法でお申込みください。

① 件名を「オンライン勉強会参加希望」とし、本文にお名前を記入して 11 月 22 日までに GEN まで（gen@gen-tree.org）メールを送る。

② 11 月 22 日までに GEN ホームページのイベント欄（<https://gen-tree.org/event/index.html>）から申し込む。

③ 11 月 24 日 14 時までに Peatix から申し込む。（<https://gennandemo08.peatix.com/>）

### 参加者募集 GEN 自然と親しむ会 前中代表と歩く「野の道」シリーズ⑥ 奈良公園で紅葉を楽しむ

久しぶりに GEN 自然と親しむ会を開催します。今回は GEN の前中代表の案内で奈良公園を歩きます。若草山がメインのコースになります。雄大な景色と自然観察を楽しみましょう。例年なら紅葉シーズンですが、今年はどうでしょうか？ お楽しみに。

○日時：12 月 4 日（土）10 時～15 時ごろまで

○場所：奈良公園

○集合：10 時に「近鉄奈良」駅東口 行基菩薩の噴水前

○案内：前中久行さん（GEN 代表）

○定員：15 名程度

○参加費：700 円（保険料含む。別途若草山入山料 150 円が必要）

○持ち物：歩きやすい服装と靴、飲み物、弁当、敷物、雨具

○申込み：12 月 1 日までに氏名、生年月日、連絡先を GEN 事務所までお知らせください。GEN ホームページのイベント欄（<https://gen-tree.org/event/index.html>）からもお申込みいただけます。

※小雨決行

※新型コロナウイルスの感染対策をしながらおこないますが、状況により、変更・中止の可能性がありますが、

## 年末寄付のお願い

2021 年もあと残りわずかとなりました。昨年にひきつづき、新型コロナウイルスの影響で中国に行けない状況ですが、7 月の会報で夏季寄付を呼びかけたところ、多くの方にご協力をいただき、大きな支えとなりました。

ご協力いただいたみなさまにお礼申し上げます。

とはいえ、今年度寄付予算 630 万円に対し、上半期の寄付額は約 98 万円と、

現在の財政状況が厳しいことには変わりません。活動を継続させていくために、どうかみなさまのご協力をお願いいたします。

緑化基金、運営資金、東北海岸林再生、どの項目へのご寄付も歓迎いたします。おまかせ寄付にさせていただくと最も必要とされている部分に充当させていただきます。

発送作業の都合上、郵便振替の用紙

を一律に同封します。最近にご協力いただいた方には重ねてのお願いではありませんのでご了承くださいませようお願いいたします。

GEN への寄付はクレジットカード決済が可能です。くわしくは GEN のホームページ（[https://gen-tree.org/join\\_donate/credit.html](https://gen-tree.org/join_donate/credit.html)）をご覧ください。

## 蔚県陽眷鎮で アブラマツを植樹しました

張家口市蔚県陽眷鎮で 9 月にマツを植えました。植樹のようすの写真が送られてきましたのでご紹介します。

昨年に引き続き、日本から現地を訪れて植樹することができず残念でしたが、陽眷鎮では春のアンズの植樹につづいて、マツも順調に植樹活動がすすめられています。



## LINE・Twitterで GEN とつながりませんか

SNS を使って GEN とつながりませんか？ このたび、GEN 世話人の若手メンバーが中心となってメッセージアプリ LINE と、情報ネットワーク Twitter のアカウントを作成しましたのでご案内します。登録していただくと、GEN のさまざまなイベントのご案内や現地の植樹のようすなどをスマホやパソコンからチェックできます。

○ LINE：下の QR コードを読み取るか、LINE アプリのトップページ上部検索ボックスから「緑の地球ネットワーク」で検索すると出てきます。追加を押すと友だちとして追加されます。

○ Twitter：下の QR コードを読み取るか、URL [https://twitter.com/GEN\\_tweet\\_1992](https://twitter.com/GEN_tweet_1992) から入れます。Twitter のアカウントをお持ちでなくても閲覧可能です。アカウントをお持ちの方はフォローいただけるとうれしいです。



Twitter



LINE

## 大切なお知らせ

### お名前、肩書などの Web 上の公開について

現在、ホームページのリニューアルを進めています。みなさんが利用しやすいサイトを目指していろいろ新しい内容も盛り込むので楽しみにお待ちください。

新しい試みの一環として、会報バックナンバーを掲載します。公開するのは 2 年前の号までで、新しいものは公開しません。公開に際して、掲載されている個人情報の扱いを検討いたしました。

協力者名簿に関してはみなさんに送付された段階で役割は終えている

し、技術的にも可能なので抹消しますが、記事の執筆者のお名前・肩書、記事内にてくる個人名に関してはそれが困難です。また、お名前が出ているすべての方に事前にお問い合わせすることもできません。執筆時 Web 公開を前提にしていなかったなどの理由でお名前の抹消を希望される方は、恐れ入りますが GEN 事務所までご連絡いただきますよう、この場を借りてお知らせいたします。よろしくお祈りいたします。

# あの人 この人

「あの人この人」では、個性豊かな GEN 会員のあれこれをご紹介します。このコーナーでご自身を紹介して下さる GEN 会員を募集しています。「我こそは」という方は GEN までご連絡ください。



## 石原 務さん（大阪府）

これまで若い年代の会員の方の紹介が続いていましたが、GENにはさまざまな年代の魅力的な方が参加されています。世代を超えた交流ができるのも NGO の特徴のひとつです。

今回は鉄人の愛称でお馴染みの石原務さんです。複数回ツアーに参加されていますので、ツアーで一緒にされた方も多くいらっしゃるでしょう。

- ・簡単に自己紹介をお願いします。  
柳条湖事件が勃発した 1931 年生まれ、今年 90 才ですが 15 年戦争の中で多感な時期を過ごした記憶は鮮明です。戦後復員軍人が占領地での暴挙を吹聴するのを拍手しながら聞いたことが忘れられない。思い出して自己嫌悪に陥るのに数年かかった。90 才の私しか出来ない自己紹介です。戦争は絶対してはいけない。
- ・いつから GEN に参加しましたか？  
90 年代後半、鳥取大学の砂丘研究

所が内モンゴルで植林をしているのが大々的に報道されていた時、GEN の活動を知り、距離的に近いので参加したと思います。ただかねがね、復員軍人が話していた中国で旅行だけでなく、住民の中に入って一緒に活動してみたいと思っていました。

- ・ GEN に入ったきっかけは？  
償いの気持ちがあった。
- ・印象にのこっている GEN の活動は何ですか？  
最初の頃は本気の植林だった。みぞれの降りしきるなかで苗木の移植をした。
- ・ GEN の良いところは？  
拘束がない。
- ・逆に悪いところは？  
NPO としてはこんなものと思う。
- ・ GEN に期待すること  
今まで通り続けること。
- ・会員のみなさんへひとこと  
大きな期待を持たず地道に長続きしてほしい。

## いままぐできる GEN への協力

### ■会員の輪をひろげよう！

緑の地球ネットワーク会費（年額）	
一般会費	12,000 円
家族会費（同居の家族 2 人目から）	6,000 円
学生会員	3,000 円
ジュニア会員（中学生以下）	1,000 円
団体会員	12,000 円
賛助会員	100,000 円

※会費は会報購読料を含んでいます。

### ■会報を購読してください！

GEN の活動に関心はあるけれど会員になるのはちょっと、という方は、会報『緑の地球』を購読していただませんか。年間購読料 2,000 円。

### ■緑化資金、運営寄付もとむ

金額は自由です。また、緑化資金、運営寄付の別を問わない使途自由のご寄付も受け付けます。その場合、必要に応じて使わせていただきます。

\* 緑化資金の 20% は事務管理費になり

ます。

### ■絵はがき『黄土高原の花』

8 枚組・300 円（送料別途。5 セット以上送料無料）

### ■書き損じはがきを集めています

書き損じはがき、古い未使用のはがきを集めています。通信費にあてます。

### ■未使用切手・古切手を集めています

普通切手、記念切手、外国切手なんでも OK。古切手は周囲を 1cm ほど残して切り取ってお送りください。

### ■ボランティア募集

会報発送や事務所の手伝いなどのボランティアを随時募集しています。参加可能な曜日、時間帯をご連絡ください。来ていただきたいときに GEN から連絡します。

\*\*\*\*\*  
【GEN への寄付は税制上の優遇措置を受けられます】

緑の地球ネットワークは大阪市に認

定された認定 NPO 法人です（期限は 2024 年 4 月 8 日まで）。

個人による GEN への寄付は、税額控除あるいは所得控除を受けられます。対象となるのは年間 2,000 円を超える寄付金で、確定申告が必要です。

企業からの寄付金は一般寄付金の損金算入限度額とは別枠の損金算入限度額が認められています。

また、個人が相続または遺贈により取得した財産を、相続税の申告期限以前に認定 NPO に寄附すると、相続税の課税対象から除外されます。

GEN の場合、寄付金となるのは緑化基金、運営カンパ、おまかせカンパと会費のうち 1 口を超える部分、賛助会費から 12,000 円を引いた金額です。

また、大阪府民、大阪市民のかたには個人住民税の控除もあります。くわしくは GEN までご連絡ください。

## 報告 環境と産業を守る取組み

中村 英（GEN 会員）

10 月 2 日（土）、GEN なんでも勉強会オンライン「お酒とわたしたちの生活を守る仕組みづくり～西条・山と水の環境機構の取組み～」をおこない、小倉亜紗美さんにお話ししていただきました。19 名が参加しました。

今回の勉強会は、呉工業高等専門学校講師、広島大学平和センター客員研究員の小倉亜紗美さんにお話しをいただきました。

西条といってもピンと来ない方も多いかも知れませんが、灘、伏見と並ぶ三大名醸地として有名です。現在は東広島市西条町になっていますが、酒類総合研究所（旧国立醸造試験所）も西条にあり、酒どころなのです。

日本酒の約 8 割は水でできていますので、日本酒の原料である水を守ることは、産業や文化を守ることにつながります。灘、伏見の酒は硬水（カルシウムやマグネシウムの含有量が多い）ので酒造りには適していますが、西条

の水は中度の軟水で、酒造りにはあまり適していません。そこに西条の酒造りの苦勞があり、その分、お酒のこくが増しているのだそうです。

しかし、西条にも宅地開発の波が押し寄せてきており、仕込み水である龍王山の伏流水を守るため、2001 年に酒蔵と周辺大学などの関係者で「西条・山と水の環境機構」が立ち上げられました。機構では、西条の日本酒が 1 升売れるごとに 1 円が基金に積み立てられ、そのお金を原資として山の除間伐をしたり、山と水のつながりを体験してもらおう講座や、地域の環境保全活動を行う団体に助成金を出すなどの活動を行っています。



大学での授業でこの機構の話聞いた小倉さんはすぐにこの活動に参加し、いまも運営委員の一人として活動しています。

西条は 8 つの酒蔵が近くに集まっています。短時間に酒蔵めぐりができますが、メインの酒蔵通り近くにある小さな川が放置されてドブ川状態になっているのを見て、小倉さんは河岸に花を植えて環境美化をはかったり、小学校の総合学習のゲストティーチャーとして、子どもたちや山のグラウンドワークに参加した人に山と水のつながりを伝える活動などを行っています。身近なところでも、環境保全の活動はできるのですね。

この講演は現在 GEN の YouTube チャンネルでご覧いただけます。

## バトンをつなごう！

### GEN 会員による「リレーコラム」

#### 第 3 回 紙大国から電子国家へ移り住んで

藤沼 潤一さん（エストニア共和国 タルトゥ大学）

200 号から GEN 会員をつなぐ新企画として、リレーコラムをスタートしました。それぞれの思いをリレー形式でお伝えしていきます。コラムを読んだ感想や、次号をご執筆いただけるかたを募集しています。ぜひ GEN までご連絡ください。

「日本の行政書類は印鑑に頼っている」というと、ここエストニア共和国では「デジタルの印鑑？」みたいな斜め上に行く反応が返ってきます。エストニアといえば電子国家。2021 年現在、なんと 99% の行政手続きが電子処理に対応しているという実力です。エストニアに四人家族で移り住んで 1 年、日々肌身で感じる電子システムの恩恵について今日ご紹介いたします。

納税に始まり、確定申告、選挙の投票、各種コロナ手続き（接種・検査・パスポート）、子供の学校手続き、などなど、日本なら役場などに出向くような手続きが、スマホやパソコンで場所や時間を選ばずに行えます。政府試

算によると 1 年間で 844 年分の仕事量（紙依存行政サービスの）をやっつける、とのこと。電子処理が社会の標準となることで、日常の色々な雑用において電子化が進んでいます。食事の出前、無人スポーツジムの開錠、医者のリモート診察から薬の処方なんてお茶の子さいさい、電子処理が考えつくような作業はほぼスマホ操作で片付きます。また ID カードさえあれば、運転免許証や健康保険証などの携行も不要です。

端末操作自体も簡略化されていて非常に快適です。さらにデジタル弱者への配慮から、ほとんどの行政手続きをいまだ紙申請でも受け付けてくれます。

また自治体各所に設けられた図書館がサポート拠点となり、共有パソコンを配備して電子手続きを支援してくれます。

日本大丈夫だろうかという憂いは、欧州の他の国に目をやることで少し癒されます。社会の紙依存度は「国のサイズと歴史」に強く関係しているようで、欧州でも歴史ある大きな国ではどこも“紙支配からの卒業”に苦勞しています。エストニアでは、ソビエトからの独立後約 30 年という若さ、京都市よりも少ない人口、そもそも面倒臭い手続きなどは棚上げにする気質？が電子国家としてのポテンシャルを高めたようです。まさに歴史ある 1 億人超えの社会で大多数の人が几帳面に手続きをこなす日本。いつか朱肉が懐かしく思える日が訪れること願うばかりです。



黄土高原紀行 <6>

一、雲岡石窟（5）

谷口 義介（GEN 会員）

さきに述べたように、私にとって今度で6回目の見学ということになるが、あらためて曇曜五窟を東から西へと拝観してゆく。ただし、東の第16窟から西の第20窟にいたる通し番号は、五窟が造営されたそのままの順番ではないという。工事は西寄りの3窟（第18・19・20窟）が先行し、東側の2窟（第17・16窟）は少し後れたらしい。

さて、第16窟の内部には施無畏印のポーズをとる如来立像。右手の平を前方に向けて肩の高さまで上げ、左手を前に差し出している。高さ13.5メートル。厚手の袈裟が両肩をおおう中国式の着方である。仏像でよく見るインド伝来の偏袒右肩（袈裟の右片袖をぬいて右肩を露わにする着方）では寒いから？

像は曇曜に開窟を命じた北魏第4代文成帝（452～465年在位）その人を模しているとか。面長の顔と穏やかな表情。慍々とした殿様顔になるのだろう。

つぎの第17窟は、台座に腰掛け、両足をX字状に組んだ交脚菩薩像で、高さ16.3メートル。足元部分の彫刻は未完成のようだ。以前、敦煌の莫高窟で北涼時代（397～439）の交脚弥勒菩薩像を見たことがある。ルーツは2世紀ごろのパキスタン北西部ガンダーラ地



第20窟の如来坐像

方にあるらしく、交脚椅坐の姿はもともと遊牧民の王者を表わすのに用いられたらしい。それはともかく、この像のモデルは第3代太武帝の皇太子だった晃といわれるが、子の文成帝は不幸な死をとげた父を悼み、景穆帝と諡して特別にあつかったようだ。

さらに第18窟は、前壁の明り窓のあいだから本尊仏立像の上半身のみ見える。高さ15.5メートル。袈裟を偏袒右肩にまとっている。第2代の明元帝がモデルという。はち切れそうな丸い顔、両脚を開いて立つ姿には圧倒された。十数年にわたる治政の間、領域内の安定と国力の充実につとめ、最晩年には洛陽一帯にまで勢力圏をひろげた。

曇曜五窟のなかで最大規模をほこる第19窟は、高さ16.8メートルの施無畏印ポーズの如来坐像。偏袒右肩した袈裟のはしを握って端坐している。初代道武帝をかたどったものといわれ、雄偉な対躰、大きな顔、力強い表情は、北魏の建国者たるにふさわしい。しかし、残忍な性格で猜疑心が強く、皇子の一人によって殺された。

最後の第20窟にまつられているのが両脇侍（ただし右像は崩落）を従えた如来坐像（写真）で、高さ14メートル。両肘を張り、ヘソの下（丹田）で両手を合せた禪定の姿勢をとる。大きく見開かれた目、豊かな頬と顎、かすかに微笑む口元と浅く浮き上がった口ヒゲ、肩まで届きそうな長い耳。第3代太武帝がモデルという。『魏書』巻4上「世祖紀」によれば、帝が生まれたとき、まだ在世中だった道武帝は「体貌瓌異なこの孫を見て、「奇としてこれを悦び」、

「わが業を成す者は

必ずやこの子ならん」、と言ったとか。もちろんこの話、史家の事後予言だろうが、成人した太武帝は華北の大部分を統一した。

このようにみえてくると、曇曜五窟の巨大仏は「皇帝イコール如来」の観念を文字どおり体現していると受け取れる。ではなぜ造像は、文成帝のとき集中してなされたのか。ずいぶんとお金もかかっただろうに。

曇曜というすぐれた仏師集団のリーダーがいたことや、道武・明元・太武三代にわたる帝国の拡大、富の蓄積もあっただろう。しかし、華北の統一がほぼ達成されたあと、北魏の内部では、かえって統治階級の鮮卑族と被支配者の漢族・諸民族の対立が顕著にあらわれてきたらしい。そうだとすると、曇曜五窟は鮮卑族の国家仏教のシンボルとして、皇帝の威信を誇示しようとするものだったのではなかろうか。

会報『緑の地球』を電子版でお届けします

現在、ご希望のかたに GEN の会報『緑の地球』の電子データを e-mail でお届けしています。

経費と資源の節約にご協力いただける方、また、印刷物がたまって困る、パソコン等で気軽に読みたいという方は GEN 事務所までお名前と会報送付アドレスをご連絡ください。次号より PDF ファイルにて送付します。

前号から PDF の会報は写真をモノクロでなくカラーで見ただけになりました。カラー写真をご覧になりたい方にもおすすめです。



大同緑化協力 25 年の軌跡

苗木づくりにとrikくむ

GENの山西省大同市での25年の緑化協力を振り返り、当時の写真も交えてシリーズでご紹介します。今回で28回目です。（高見邦雄）

大同における緑化協力が初期はさんざんだったのに、その後、成功を重ねたのには経験と技術の蓄積がありました。なかでも、自分たちで苗木づくりを始めたのが大きかったと思います。

1992年に協力事業をはじめ、2年後には果樹にもとりくみました。果樹栽培は日本では集約農業の典型ですけど、中国では林業に属し、緑化協力に取り入れても不自然ではありません。枝葉を広げれば、水土流失と砂漠化の防止に山林樹種と同じような効果があり、農家の収入の安定にも役立ちます。

ところが失敗することが多かったのです。当時、果樹苗を育てる苗圃が近くになく、河北省から購入していました。その苗が古くなっていたり、ときには接ぎ木に失敗し台木の芽が伸びたものが混じっていたりしたのです。ニセ苗と呼んでいました。

ずっとあとになって、2001年の春分のころ、河北省の「苗木の郷」に行く機会がありました。保定市定州市大辛庄鎮で、1つの鎮がまるごと苗圃です。もとは果樹栽培が中心だったのが、1970年ごろ苗木生産に乗り出し、緑化ブームに乗って専業にしたそう。

華北平野のど真ん中で360度どこを向いても地平線。日本はもちろん大同でもみることのない風景です。標高は100mを切り、ヤナギは新芽が伸び、ポプラの花は終わっていました。春の訪れが大同より1か月余り早いのです。

それが問題でした。苗は芽が動き出したあと植え替えたのでは、活着率が大きく下がります。ここの苗畑でも、そうなる前に掘り起こします。でも、大同は土が凍結していて植え穴を掘ることもできません。きちんと仮植えしてあげたいんですけど、たくさん苗がただ積み上げられているのを、このときも目にしました。

私たちは1995年春に大同市南郊区平旺郷に拠点の環境林センターを立ち上げ、育苗を始めました。果樹園だったところで、長年、生活汚水を灌漑につかい、土地が富栄養化していました。マツなど針葉樹の育苗には適さないけど、アンズ、ポプラなど広葉樹は好成績でした。

現場で苗を植えるのも、ここで苗を育てるのも、一つの事業です。センターの技術者が各県の現場を回り、なにが求められているか熟知しています。植

えたあとの結果にも責任をもたないといけません。売って終わり、ではないんですね。それがよかったです！

アンズをはじめ、果樹の苗はすべてが接ぎ木苗です。晩秋に種を畑に埋め、翌春発芽したものを一年育て、つぎの春に接ぎ木をします。地上部をカットし、優良品種の芽を接ぐわけです。それを1～2年育てて、出荷します。地上部は1年生か2年生のクローン、根っこは2年生か3年生です。果実を商品にするには、同質にそろっていないといけないので、そういうふうで育てるわけです。

毎年、数千本の苗を育てますので、技術者たちは熟練しています。接ぎ木の名人の立花吉茂先生がそのようすをみて、「刃物の扱いに迷いがありません」といって感心しておられました。



苗床からアンズ苗を掘り起こす

新作続々

GENのYouTubeチャンネル

前号でもお知らせしましたが、GENのYouTubeチャンネルで動画を配信しています。いつでも無料でご覧ください。GENのことを知らない方に知ってもらうためのツールとしてもぜひご利用ください。

10月2日のGENなんでも勉強会オンライン「お酒とわたしたちの生活を

守る仕組みづくり」の講演、高見副代表によるシリーズの#3「早魃」、#4「大雨」、#5「浸食谷」、#6「段々畑」、#7「太陽光発電」、インターン生が作成したGENの活動紹介や、オンライン自然観察会も新しくアップしています。

オンライン自然観察会はシリーズとして続けていく予定です。



GENチャンネルを見ていただいているご感想や、「こんな動画が見たい」などご意見をお寄せいただけると励みになります。

GENのYouTubeチャンネルはYouTubeのトップページから「緑の地球ネットワーク」で検索するとできます。上のQRコードからも入れます。

情報ひろば  
いっしょなかたち

第27期

自然大学参加者募集

室内講義7回、野外実習7回の生態系の理解を目的とした市民大学です。

- 期間：2022年4月10日～2023年3月5日（全14回。原則日曜日開催）
- 定員：30名（18歳以上、先着順）
- 受講料：35,000円（交通費、宿泊費、野外実習の経費等別途）
- 講師：只木良也氏（名古屋大学名誉教授）、渡辺弘之氏（自然大学学長・京都大学名誉教授）、伊藤孝美氏（NPO法人「自然と緑」理事長）ほか
- 申込み方法：郵送またはファクスでお名前、生年月日、性別、職業、住所、趣味・特技、電話番号、ファクス番号、メールアドレスを明記のうえお申込みください。
- 主催・申込み先：NPO法人自然と緑（〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-1-35 アネックスパル法円坂4F tel. 06-6809-1700 fax. 06-6809-2702 e-mail : sizen\_mi@osb.att.ne.jp URL : http://home.att.ne.jp/iota/sizen\_midori/）

東京裁判と南京

南京の記憶をつなぐ2021

ドキュメンタリー上映／講演／トーク

東京裁判と南京大虐殺について考えます。ドキュメンタリー映像は日本初公開です。

\*当欄掲載のイベント情報は掲載時点のもので、その後変更になる可能性があります。主催者にお確かめのうえ、ご参加ください。  
\*当欄に情報をお寄せください。本紙は奇数月15日ごろの発行で、締切は前月の末です。なお、紙面の都合により掲載できない場合があります。ご了承ください。

- 日時：12月11日（土）14時～16時30分（13時30分開場）
- 場所：エルおおさか南館5Fホール（大阪市中央区北浜東3-4 大阪メトロ／京阪「天満橋」駅より西に5分）
- 資料代：1,000円（学生500円）
- プログラム：ドキュメンタリー映像『東京裁判と南京ー大きな溝を乗り越える』（2015年上海外語チャンネル制作）50分／講演とトーク『揚子江で処理した10万の死体ー太田寿男口述書から』講師：松岡環さん（銘心会南京／日中平和研究会代表）
- 主催・問合せ：南京の記憶をつなぐ2021 tel.090-8125-1757

- 問合せ：ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2021 事務局（〒530-0013 大阪市北区茶屋町2-30 4階（関西 NGO 協議会）tel.06-6377-5144 e-mail : youth\_expo@kansaingo.net URL http://owf-youth.com）

ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2021online

高校生が国際課題の理解を深め、具体的にアクションするためのイベントです。

- 日時：12月19日（日）10時～16時
- 開催場所：ワンフェス for ユース公式HP内特設会場
- 参加方法：事前予約制。11月20日以降にワン・ワールド・フェスティバル for Youth 公式ホームページ内特設ページよりお申込みください。
- 主催：ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2021 運営委員会、（特活）関西 NGO 協議会
- 参加費：無料

おいしいポンカン  
いかがですか

★甲浦ポンカン（低農薬・動物性有機肥料のみ使用）

【歳暮・贈答用化粧箱入り】

A	2L/3L	5kg	30	個前後	4,200円
B	2L/3L	3kg	20	〃	2,800円
C	L	5kg	35	〃	3,700円
【普通箱入り】					
D	2L/3L	5kg	30	〃	3,800円
E	2L/3L	3kg	20	〃	2,500円
F	L	5kg	35	〃	3,300円

【家庭用】

G	5kg	33	〃	2,800円
---	-----	----	---	--------

※出荷：12月10日～2月下旬

※送料別途。20kgまで関西880円、関東・甲信越970円。

★ご注文は

〒781-7412 高知県安芸郡東洋町大字河内203 田中農園 田中隆一さん（tel./fax. 0887-29-2500 e-mail : tanakan3@cronos.ocn.ne.jp）

※売り上げの一部を寄付していただいています。ご注文の際は一言「GENの紹介」と添えてください。